第43回日本パラ水泳選手権大会実施要項
【世界パラ水泳連盟(WPS)承認大会】

1 目的

本大会は、指定地域大会等で参加標準を突破した全国の障がい者が、日本一を決定する国内最大の水泳競技大会である。この大会において自己の有する能力に挑戦し、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。また、水泳競技の魅力を知ってもらうとともに競技力の向上に資する。

2 大会名

第43回日本パラ水泳選手権大会

3 主催

一般社団法人日本パラ水泳連盟(以下「JPSF」という)

4 主管

第43回日本パラ水泳選手権大会実行委員会

5 後援(予定)

スポーツ庁、兵庫県、 姫路市、(公財)日本パラスポーツ協会、(公財)日本水泳連盟、
(公財)兵庫県障害者スポーツ協会

6 協力

(一社)兵庫県水泳連盟、
(一社)日本知的障害者水泳連盟(以下「JSFP」という)、(一社)日本デフ水泳協会(以下「JDSA」という)

7 協賛(予定)

(株)フジタ、(株)ゴールドウイン、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、味の素(株)、
NTT ファイナンス(株)、三菱商事(株)、タキロンマテックス(株)、(株)グロリアツアーズ

8 期日

2026年11月28日(土)～29日(日)
※クラス分け 11月27日(金) 12時30分～(予定) ※公式練習 11月27日(金) 13時～(予定)

9 会場

大和工業アリーナ姫路(ひめじスーパーアリーナ) 兵庫県姫路市西延末450番地
メインプール 50m×10レーン(競技会では8レーンを使用)、水深2m(予定)、水温28℃±1℃
サブプール 25m×8レーン、水深1.1m～1.4m

10 競技方法

(1)個人種目は、すべてタイムレースとする。
(2)個人種目は、原則、男女別、クラスごとにエントリータイム順で組分けをする。
(3)リレー種目は、予選と決勝を行う。

11 競技種目

別紙【2】「競技種目一覧表」による。

スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

12 競技規則

本大会は、世界パラ水泳連盟(以下「WPS」という)承認大会(予定)であり、最新の WPS 競技規則および本大会要項等のもとで行われる。ただし、S21/SB21/SM21 の選手については、障がい状態によって適用事項または泳法例外コードが判断される。また S15/SB15/SM15 の選手は世界水泳連盟(以下「WA」という。)競技規則が適用される。クラス分けについては、J-FCS クラス分け規則 2026 版が適用される

※今大会は WPS 承認大会であり、世界記録とアジア記録は公認されない。これらの記録は承認プラス大会で公認される。

13 参加資格および制限

＊JSFP 登録の選手は別紙【4】による。

＊当連盟の登録選手ではない JDSA 登録の選手は、JDSA から推薦を受けた選手とし、オープン参加とする。

＊以下は JPSF 登録選手のみとする。

(1)参加資格

個人種目は、下記の①②③を満たす者。または①②を満たし、且つ④⑤⑥のいずれかに該当する者。

①2026 年度 JPSF 登録者。

②肢体不自由者および視覚障がい者は、エントリー時に JPSF が認めた競技クラスを持っている者。

③下記の大会において、少なくとも1種目が別紙【3】の参加A標準記録に達している者。

・第 39 回関東身体障がい者水泳選手権大会
・第 36 回東北身体障がい者選手権水泳競技大会
・第 33 回中部障がい者水泳選手権大会
・第 37 回近畿身体障がい者水泳選手権大会
・第 32 回中国四国身体障害者水泳選手権大会
・第 37 回九州障がい者水泳選手権大会
・第 5 回横浜国際プールインクルーシブ水泳競技大会
・2026「地域におけるインクルーシブ型記録会」東、西地区
・2026 年度に開催された各都道府県水泳連盟主催大会・マスターズ大会(記録を証明する資料の提出が必要)

④本大会では「ユース枠」(大会初日現在で 18 歳未満の者)と「開催地ブロック枠」(近畿身体障がい者水泳連盟登録者に限る。)を設ける。上記③に示す大会で、少なくとも１種目が別紙【3】の参加Ｂ標準記録に達していれば、大会に出場できることとする。また、標準記録に達していなくても「地域におけるインクルーシブ型記録会」でユースの部において各種目マルチランキング８位以内であれば、出場できることとする。

⑤シニアの部について

ｱ)上記③に示す大会で、少なくとも 1 種目が別紙【3】の参加 B 標準記録に達している大会初日現在で満 50 歳以上の者は、シニアの部(50m 種目のみ)に出場することができる。

※シニアの部は、50m自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの４種目を実施する。

ｲ)参加Ａ標準記録を達成している場合は、一般・シニアの部のいずれかを選択して出場することができる。

⑥上記の条件を満たさない強化指定選手および発掘選手等は、JPSF ハイパフォーマンスディレクターの推薦により参加することができる。(原則として地域大会には、必ず出場しなければならない。)

(2)制限

①個人種目は、1 人 2 種目以内とし、リレーは含まない。ただし、申込み締切日に世界パラ水泳連盟(以下 WPS という)にライセンス登録をしている選手については、4 種目まで参加可能とする。なお、400m自由形はライセンス登録者およびJDSA推薦選手が出場できる種目とする。

②リレーは、登録団体対抗とし、1 団体 1 種目 2 チーム以内とする。また、リレーに出場するチームの選手は個人種目に参加し、競技クラスを持っている選手とする。

(3)日本以外の WPS 登録選手の参加については、JPSF ハイパフォーマンスディレクターの推薦により 4 種目まで参加することができる。ただし表彰の対象としない(WPS 承認大会による海外選手の特例)。

スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

14 ドーピング検査(以下、JADA からの注意喚起文による)

(1)本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

(2)本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。

18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。

(3)本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。

親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html)からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

(4)本競技会が国内最高レベルの競技大会に該当し、禁止物質・禁止方法を使用して治療を行う競技者に限り、競技会 30 日前までに治療使用特例(TUE)を取得すること。競技会及び TUE が必要か否かは、以下の手続きに沿って確認すること。

① 自身が使用している治療薬が禁止物質・禁止方法(https://www.realchampion.jp/what/health/about/)に該当するかを確認すること。

② 当該競技会が、国内最高レベルの競技大会一覧(https://www.playtruejapan.org/code/tue.html)に掲載されているかを確認すること。

③ 治療使用特例(TUE)の手続き(https://www.realchampion.jp/what/health/tue/)を確認し、期限までに提出すること。

(5)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(6)競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 1 時間の安静が必要となるので留意すること。

(7)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(http://www.playtruejapan.org)にて確認すること。

15 クラス分け

2026 年 11 月 27 日(金)12:30～(予定)

※参加 A の標準記録を達成しているステイタス L、LR 西暦年、LR、JR2026年以前の選手でクラス分けを希望する者は申込時にクラス分け希望の意思を示すこと。連盟より個別にクラス分け受検を指示した選手はクラス分け受検が必須となる。肢体不自由の受検数には限度がある。受検可能な選手には詳細を別途通知する。

視覚障害でステイタス L、LR、LR 西暦年、JR、JR2026 以前の選手はエントリー締め切りまでにクラス分け評価を完了していなければならない。

クラス分け評価に関する詳細は HP に掲載する。

16 表彰と記録

(1)一般・シニア別、男女別、種目別、クラス別およびリレー種目で 1 位、2 位、および 3 位の選手にメダルを授与する。(※ユース枠、開催地ブロック枠は、一般の部で表彰される。)ただし、参加申込者が 1 名または 2 名(チーム)

までの種目は１位のみ、３名(チーム)の種目は２位までにメダルを授与する。
(2)リレー優勝チームには優勝トロフィー等を授与する。
(3)完泳した選手で希望する者全員に記録証を発行する。
(4)JPSF 競技会参加会員のこの大会の記録は、クラス毎に結果を反映させて JPSF の記録として公認される。ただし、リレーの第１泳者のタイムは公式記録として取り扱わない。
(5)JPSF 競技会参加会員の日本記録は個人種目で、ステイタスが J、JR、JR 西暦年、R、R 西暦年、C である場合を対象とする。リレーは本大会のみの競技であるため、大会記録のみを対象とし、日本記録の対象にはしない。
(6)オープン参加の選手は、表彰の対象とはしない。

17 日程(予定)

2026 年 11 月 28 日(土) 受付 8:30 練習時間 8:30～9:45 開始式 10:00 競技開始 10:15
11 月 29 日(日) 受付 8:30 練習時間 8:30～9:45 競技開始 10:00

競技順序	
11 月 28 日(土)〈 １日目 〉	11 月 29 日(日)〈 ２日目 〉
開始式 10:00　競技開始 10:15	競技開始　10:00
1 女子 400m 自由形	23 4×50m フリーリレー 28p 予選
2 男子 400m 自由形	24 4×50m フリーリレー 38p 予選
3 女子 100m 平泳ぎ	25 女子 200m 自由形
4 男子 100m 平泳ぎ	26 男子 200m 自由形
5 女子 200m 個人メドレー	27 女子 100m バタフライ
6 男子 200m 個人メドレー	28 男子 100m バタフライ
7 女子 150m 個人メドレー	29 女子 100m 背泳ぎ
8 男子 150m 個人メドレー	30 男子 100m 背泳ぎ
9 4×50m メドレーリレー 28p 予選	31 女子 50m 平泳ぎシニア
10 4×50m メドレーリレー 38p 予選	32 女子 50m 平泳ぎ
11 女子 50m 背泳ぎシニア・	33 男子 50m 平泳ぎシニア
12 女子 50m 背泳ぎ	34 男子 50m 平泳ぎ
13 男子 50m 背泳ぎシニア	35 女子 50m 自由形シニア
14 男子 50m 背泳ぎ	36 女子 50m 自由形
15 女子 50m バタフライシニア	37 男子 50m 自由形シニア
16 女子 50m バタフライ	38 男子 50m 自由形
17 男子 50m バタフライシニア	39 4×50m フリーリレー 28p 決勝
18 男子 50m バタフライ	40 4×50m フリーリレー 38p 決勝
19 女子 100m 自由形	
20 男子 100m 自由形	閉会式
21 4×50m メドレーリレー 28p 決勝	
22 4×50m メドレーリレー 38p 決勝	注:競技順序は、申込状況などにより、一部変更することがある。

18 前日練習

2026 年 11 月 27 日(金)13:00～17:00 ※クラス分けを行うレーンを除く、専用レーンとする。

19 免責事項

(1)参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。
(2)会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

20 申込規定

本大会の申し込みは、エントリープラス方式で行う。
JPSF 登録者および JSFP 登録者は、直接、エントリープラスで申し込むこと。
JDSA 登録者は、JDSA の担当者を通して申し込むこと（JDSA 担当者より別途連絡する）。
（1）申込先：エントリープラス（ファーストトレード（株））経由で JPSF とする。
（2）問合せ：下記の Fax または Emai にて問い合わせること。
Fax：078-855-6685（第 43 回日本パラ水泳選手権受付）
Email:jpsf-moushikomi@paraswim2.jp
（3）参加費：個人種目　1 人 1 種目　2,000 円　リレー種目　1 チーム 1 種目　3,000 円
参加費の納入はエントリープラス入力時に、振込み手続きをする。また、一旦納入された参加費は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、原則として返金しない。
（4）申込期限：2026 年 9 月 24 日（木）　＊締め切り後の追加申込・変更等は受け付けない。
（5）その他：プログラムを参加選手1人につき1冊を無償で配布する予定。

21 個人情報の取り扱い

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、その他競技運営および水泳競技に必要な連絡等に利用する。

22 その他

（1）本大会での介助者等（タッパー、入退水介助者等）は原則として各自で準備すること。コードオブエクセプション「A」、「T」、「Y」の記載のない選手の介助者等は、競技エリア内入場申請を事前に行うこと。
（2）水着については、原則として WA および WPS の規則に従うこと。
（3）本大会では、YouTube による中継をする予定。誰もがインターネット等で競技を見ることができることを理解の上、参加すること。
（4）上記（3）以外にも主催者や主催者が承認した報道機関に撮影・録音され、報道されることがあることを理解の上、参加すること。
（5）主催者側で撮影・録音した肖像は、JPSF の広報活動や教育教材として使用することがあることを理解の上、参加すること。
（6）監督会議は行わないので、ホームページに掲載される 2 次要項を良く読んでおくこと。また、当日必要な連絡事項は、場内放送とともに会場に掲示する。
（7）車いすの貸し出しは行わないので、必要な場合は各自用意すること。
（8）競技中は安全を第一に行う。大会に参加する選手は、健康体であり、大会の参加に備えてトレーニングを十分に行っていること。障がい以外に高血圧症、心臓病等の持病がある場合は主治医に競技参加の許可を得て出場すること。健康状態において、競技続行中止の命令が出た場合は速やかに競技を中止すること。
（9）選手待機場所は観覧席および指定された場所とする。
（10）その他、大会の開催について必要な事項は、第 43 回日本パラ水泳選手権大会実行委員会が定め、JPSF ホームページで公開する。